

児童発達支援及び放課後等デイサービスに係る  
自己評価結果等の公表にかかる届出書

令和 4 年 3 月 3 日

青森県障害福祉課長 殿

所在地 青森県三沢市大町2丁目6番27号

法人名 社会福祉法人 楽晴会

代表者 職 氏名 理事長 齊藤 淳

1 事業所情報

事業所名	大町児童デイサービスセンターひかり		
事業所番号	251560520		
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
所在地	青森県三沢市大町2丁目2番1号		
連絡先	0176-58-7507	担当者名	佐藤 恵

2 取組時期

職員による評価	令和 4年 1月 15日	～	令和 4年 2月 15日
保護者による評価	令和 4年 1月 15日	～	令和 4年 2月 15日
事業所全体による評価	令和 4年 2月 16日	～	令和 4年 2月 28日

2 公表状況

公表日	令和 4年 3月 15日		
公表方法	《児童発達支援》		
	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載	(URL <a href="http://www.rakuseikai.or.jp">http://www.rakuseikai.or.jp</a> )
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布	(会報等の名称)
	<input type="checkbox"/>	その他	(具体的な方法)
	《放課後等デイサービス》		
	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載	(URL <a href="http://www.rakuseikai.or.jp">http://www.rakuseikai.or.jp</a> )
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布	(会報等の名称)
<input type="checkbox"/>	その他	(具体的な方法)	
公表内容	各サービスの「事業所における自己評価結果(公表)」及び「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」を添付してください。		

(

(

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和4年 2月 28日

事業所名 三沢発達支援センターひかり

保護者等数(児童数)8名 回収数 7名 割合 87%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6			1	とても活動しやすいスペースが確保されていると思います。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5			2	子どもの数に対してスタッフさんの専門性・人数は適切だと思います。	基準以上の配置となっています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境 <sup>#1</sup> になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7				それぞれの活動にわかりやすく構造化されています。(玄関がもっと広くバリアフリー化されると良いと思います)	今後検討していきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7				とても明るく清潔で子ども達が活動しやすい空間だと思います。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 <sup>#2</sup> が作成されているか	7				子どもに対する親の希望を客観的に分析し個々の発達に沿った計画が作られていると思います。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7				発達の支援に必要な項目が個々の発達に沿った具体的な内容で分かりやすく設定されていると思います。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				少しずつ色々な事ができるようになっているので計画に沿って行われていると思います。	
	8 活動プログラム <sup>#3</sup> が固定化しないよう工夫されているか	7				個々の発達に合わせて色々なプログラムが工夫されていると感じます。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3				4 機会があったのかよく分かりません。	今後検討していきたいと思います。
保	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7				その都度説明していただいています。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	7				担当者の方から丁寧に説明していただいています。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング <sup>#4</sup> 等)が行われているか	6				1 発達状況に応じて、子どもにあった療育がなされ、保護者に対して子どもの特性を理解したアドバイスをいただいています。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7				その都度、その日の子どもの状況を細かく伝えていただいています。	

護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5		2	定期的ではないですが、面談時は細かく丁寧にお話ししていただきました。	ご希望に沿う形での、定期的な面談ができていないので今後実施していきます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6		1	まだ参加できていませんが、定期的に茶話会が行われ保護者同士の連携支援がされていると思います。	たくさんの保護者の方に参加していただけるように開催日を工夫していきます。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6		1	申し入れや、相談事も迅速に対応していただいています。	苦情解決の体制はあります。迅速・適切な対応を心がけていきたいと思っています。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7				細かく情報伝達してもらっています。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7				定期的に行事予定や活動など知らせていただいています。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7				されている。	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6		1			
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	6		1	楽しみに通所しています。	引き続き子どもたちが楽しめる療育ができるよう努めていきます。	
	23	事業所の支援に満足しているか	7			いつも子どもの様子に合わせて細やかな対応、支援していただき、感謝の思いばかりです。	日々研鑽しより良い支援ができるよう努めていきます。	

#1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

#2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

#3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

#4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 2月 28日

事業所名三沢発達支援センターひかり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		基準以上の人員を配置しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		場所によって活動する内容が決まっており児童が混乱しないよう工夫しています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ISO取得。全職員で業務改善について話し合いを行い取り組んでいます。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けに満足度調査を実施し、評価結果を分析し対応を改善しています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	ホームページにて公表します。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の年間計画をたて定期的に勉強会を行っています。外部研修に参加した際は伝達研修を行い情報を共有し全職員のスキルアップを目指しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		ご家族様からのアセスメントと職員視点でのアセスメントを行っています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自のアセスメント様式を使用し、児童の発達の変化を見えています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		各項目に沿ってできるだけ具体的な支援内容になるよう作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々支援計画にそって支援し、記録を作成しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で話し合い、活動グループや活動内容を決めています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子さんの特性に配慮しながら、変化のあるスケジュールを作成しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子さんの発達に合わせた個別活動と小集団活動を組み合わせています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		職員で話し合い、実施活動の担当、支援内容の確認を行っています。	
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で話し合い、振り返りを行います。話し合いに参加できない職員へは、伝達ノートを活用し情報共有を行っています。		

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	記録はその日のうちに行っています。また記録から支援の検証を行っています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	3ヶ月1回モニタリングを実施し、計画の見直しに繋がっています。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○	市町村や児童相談所、保健師と連携し情報の共有を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	対象児童はいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	対象児童はいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	園を訪問して、担当の先生方と情報共有を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	特別支援学校と情報共有しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	青森市や八戸市にある発達障害者支援センターが主催する研修等に積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	現在は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳やお迎えに来た際など日々の状況をやり取りし、共通理解を図っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	利用契約時に行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	計画作成時に行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	事業所内相談を実施しています。また子育ての悩みについては随時相談に応じています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	1年に数回、茶話会を企画し参加を呼びかけています。保護者同士で情報を交換したり、悩みを相談する場となっています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	お子さんや保護者から相談申し入れがあった場合は時間や場所を確保し、適切な人が対応できる体制づくりをしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	広報を定期的に発行、毎月利用希望表にて行事予定をお知らせしています。必要なことがあればお手紙を随時発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印をいただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。	

非常時等の対応	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子さんに対しては視覚でわかるような配慮をしています。保護者に対しては専門用語を使わないよう配慮し、わかりやすく説明しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していきたいと思います。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種マニュアルは策定しているが保護者への周知が不足しているので周知する機会を設けます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月地震・火災・不審者想定避難訓練実施をしています。非常食の備えをしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		確認しています。またアレルギー確認シートに記載いただき職員間で情報共有しながら対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月の職員会議で確認、共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、県主催の虐待研修に参加しています。参加者より伝達研修を行っています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束の専案はありません。		

(

(



保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 2月28日

事業所名 大町児童デイサービスセンターひかり 保護者等数(児童数)30名 回収数25名 割合 83 %

	チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3	0	3	活動に合わせて限られた空間を工夫して活用しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	0	0	3	介護福祉士・社会福祉士・児童指導員等、基準人数以上を配置しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	0	1	0	時間帯により駐車場や玄関が込み合いご家族様にはご協力頂いています。あらゆる状況でもお子さんに適切な環境を検討していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24	0	0	1	保護者のニーズや本人の課題に着目し計画を作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	25	0	0	0	平日は曜日によって活動内容が固定しているものもあるが、年間行事を企画実施したり、長期休みに楽しめる行事を企画しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	3	2	10	今後検討していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	1	0	0	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	2	0	0	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	1	1	1	ご希望に沿う形での定期的な面談ができていないので、今後実施していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	1	0	4	たくさんの保護者の方に参加していただけるように開催日を工夫していきます。父母の会はありません。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	1	0	5	苦情解決の体制はあります。迅速・適切な対応を心がけていきたいと思えます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1	0	0	連絡帳を活用されている保護者が多いので今後も継続していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	1	0	1	3ヶ月に1回広報を作成し配布しています。また毎月の利用希望表にて行事をお知らせしています。自己評価の公表を実施しています。
14 個人情報に十分注意しているか	23	1	0	1		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	2	0	2	各種マニュアルはあるが保護者への周知が不足しているので周知していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	0	0	2	毎月実施しています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	3	引き続き子どもたちが楽しめる療育ができるよう努めていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	24	1	0	0	支援方法について日々研鑽しより良い支援を目指していけるよう努力していきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 28日

事業所名 大町児童デイサービスセンターひかり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		状況に応じて工夫しながらスペースを有効活用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		基準以上の人員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ISO取得。全職員で業務改善について話し合いを行い取り組んでいます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けに満足度調査を実施し、評価結果を分析し対応を改善しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表します。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修の年間計画をたて定期的に勉強会を行っています。外部研修に参加した際は伝達研修を行い情報を共有し全職員のスキルアップを目指しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		ご家族様からのアセスメントと職員視点でのアセスメントを行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所独自のアセスメント様式を使用し、児童の発達の変化を見えています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員で話し合い、活動グループや活動内容を決めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子さんの特性に配慮しながら、変化のあるスケジュールを作成しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休みは季節に応じた活動を取り入れながら、屋内外での活動のルールを習得できるように支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子さんの発達に合わせた個別の活動と小集団活動を組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		当日、職員で話し合い、活動グループや内容を決めています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で話し合い、振り返りを行います。全職員の参加はできないので申し送り伝達ノートやへ記載しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録はその日のうちに行っています。また記録から支援の検証を行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3ヶ月に1回モニタリングを実施し、計画の見直しに繋がっています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		児童の心身の発達を目指した活動を複数取り入れています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校側から予定表配布、連絡帳の活用や各学校の先生と直接話し、情報共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	対象児童はいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在は行っていません。	今後検討していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やお迎えに来た際など日々の状況をやり取りし、共通理解を図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談を実施しています。また子育ての悩みは随時相談に応じています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		1年に数回、茶話会を企画し参加を呼びかけています。保護者同士で情報を交換したり、悩み相談をする場となっています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		お子さんや保護者から相談申し入れがあった場合は時間や場所を確保し、適切な人が対応できる体制づくりをしています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		広報を定期的な発行、毎月利用希望表にて行事予定をお知らせしています。必要な事があればお手紙を随時発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時個人情報利用同意書にサイン・捺印をいただいています。広報に写真を載せる場合は同意をいただいています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子さんへは視覚でわかるような配慮をしています。保護者に対しては専門用語を使わないように配慮し、わかりやすく説明をしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月地震・火災・不審者想定避難訓練を行っています。非常食の備えをしています。	

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎年、県主催の虐待研修に参加しています。参加者より伝達研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		身体拘束の事案はありません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	確認しています。アレルギー確認シートに記載していただき職員間で情報共有しながら対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	毎月の職員会議で対策を検討しています。	

\_\_\_\_\_

(

(